

1. 科目名(単位数)	社会福祉入門 (2単位)	3. 科目番号	GELA1101 GELA1301
2. 授業担当教員	藤田 孝典		
4. 授業形態	講義、ディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	近年急速に進展する少子高齢化など社会構造の変化に伴い、わが国はますます福祉重視型の社会をめざしている。本科目では、こうした社会の中で必要な社会福祉とは何か、また様々な福祉領域で必要な知識や実践方法にはどのようなものがあるのかなどについて、基本的な学びを深める。さらにこれまでの福祉理念の変遷を概観し、急速に変化していく現代社会において、これからの福祉のあり方についても考察する。入門編として充実した内容であるとともに、福祉に興味を持つことに重点を置くこととする。		
8. 学習目標	1. 社会福祉とは何か、なぜ学ぶのかについて理解し、考察することができる。 2. 様々な領域の状況(問題や政策、制度、サービス等)について理解し、考察することができる。 3. 各自の国の状況も踏まえ、今後の課題やあり方について考察することができる		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	アサイメントは講義の中で指示する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】木下大生・藤田孝典『知りたい! ソーシャルワーカーの仕事』岩波書店 【参考書】必要な参考書等は講義の中で指示する。また、必要に応じて、プリント等補助教材を配布する		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の基準 1. 社会福祉とは何か、なぜ学ぶのかについて理解し、考察することができるか。 2. 様々な領域の状況(問題や政策、制度、サービス等)について理解し、考察することができるか。 3. 各自の国や地域の状況比較も踏まえ、今後の課題やあり方について考察することができるか。 ○評定の方法 1. 授業への積極的参加(提出物等含む) 30% 2. 課題レポート 30% 3. 期末試験 40%		
12. 受講生へのメッセージ	本科目では、社会福祉の基礎的な学習を通じ、学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を養成し、より実践的な技術、知識を得ることを目的としている。目的達成のため、受講生は以下の条件を守ること。 1. 授業中は、常に知的探究心を有し、集中力を保って受講すること。関心を持ち、積極的な姿勢を望む。 2. 自ら進んで教員に質問すること。理解できないことをそのまま放置しないこと。 3. 欠席、遅刻、早退を極力しないこと。欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず教員に書面をもって報告すること。 4. 明らかに授業態度が悪いと判断された際は指導を行う。指導後も授業態度の改善が見られない場合、評価に大きく影響するので注意すること。 5. 授業中、私語、居眠りはしないこと。特に私語は他者の学習権を侵害する行為なので厳に慎むこと。教員は以下のことを実行する。 1. 授業の目的、目標を明確にし、授業の進行は極力シラバスに沿って行う。 2. 受講生全体に聞こえる大きさの声で話すとともに、専門用語はわかりやすく、繰り返し説明する。 3. 一方通行の講義だけを行うのではなく、ディスカッションやグループワークを行いながら、学生が積極的に授業に参加(発言、発表等)できるよう双方向対話型の学習環境を作る。 4. 権威的にならず、受講生に寄り添い、質問や意見しやすい雰囲気づくりに努める。		
13. オフィスアワー	初回の講義において提示する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	講義オリエンテーション: 教員による自己紹介、これからの講義内容と進行についての説明	事前学習	本学へ入学した経緯を振り返り、「社会福祉」について学ぼうと考えた動機について言語化できるようにする。
		事後学習	授業で取り上げた内容について参考文献やインターネット検索等で深めること。
第2回	私たちが暮らす資本主義社会とは?—資本主義社会ってなんだ?—グループワーク	事前学習	図書館等で「資本主義」をキーワードに文献を少なくとも1冊は読んでおくこと。
		事後学習	グループワークでの議論を復習して自分なりに考察を深めること。
第3回	私たちが暮らす資本主義社会とは?—資本主義の歴史	事前学習	「資本主義」について自分が理解していることをまとめる。
		事後学習	講義で学んだ事項をまとめておく。
第4回	私たちが暮らす資本主義社会とは?—社会福祉が生まれた理由—	事前学習	福祉が必要な社会について身の回りや経験から考察を深めておくこと。
		事後学習	講義で学んだ事項をまとめておく。
第5回	社会福祉とは何か—日本の福祉の歴史と福祉理論—	事前学習	資本主義の特徴とデメリットを理解し考察を深めておくこと。
		事後学習	配布資料を熟読し分からない部分を放置しないこと。特に専門用語は調べて覚えること。
第6回	高齢者福祉—グループワーク—	事前学習	高齢者を取り巻く問題、福祉ニーズについて文献やインターネット等で学んでおくこと。

		事後学習	グループワークで議論された内容、特に自分と違う意見について考察し深めておくこと。
第7回	障害者福祉—グループワーク—	事前学習	障害者を取り巻く問題、福祉ニーズについて文献やインターネット等で学んでおくこと。
		事後学習	グループワークで議論された内容、特に自分と違う意見について考察し深めておくこと。
第8回	児童福祉—グループワーク—	事前学習	子どもを取り巻く問題、福祉ニーズについて文献やインターネット等で学んでおくこと。
		事後学習	グループワークで議論された内容、特に自分と違う意見について考察し深めておくこと。
第9回	女性や母子に対する福祉—グループワーク—	事前学習	女性や母子世帯を取り巻く問題、福祉ニーズについて文献やインターネット等で学んでおくこと。
		事後学習	グループワークで議論された内容、特に自分と違う意見について考察し深めておくこと。
第10回	貧困と低所得者への支援—グループワーク—	事前学習	貧困状態にある人や低所得者を取り巻く問題、福祉ニーズについて文献やインターネット等で学んでおくこと。
		事後学習	グループワークで議論された内容、特に自分と違う意見について考察し深めておくこと。
第11回	外国人や海外にルーツを持つ人への支援と福祉—グループワーク—	事前学習	外国人を取り巻く問題、福祉ニーズについて文献やインターネット等で学んでおくこと。
		事後学習	グループワークで議論された内容、特に自分と違う意見について考察し深めておくこと。
第12回	罪を犯した人々への支援—グループワーク—	事前学習	罪を犯した人々を取り巻く問題、福祉ニーズについて文献やインターネット等で学んでおくこと。
		事後学習	グループワークで議論された内容、特に自分と違う意見について考察し深めておくこと。
第13回	社会福祉の専門職（社会福祉士などソーシャルワーカー）について：福祉専門職について知るとともに社会福祉士等の専門性について理解を深める—グループワーク—	事前学習	教科書で指定した「知りたい！ソーシャルワーカーの仕事」を熟読しておくこと。
		事後学習	ソーシャルワーカーの仕事内容について説明できるようにしておくこと。
第14回	社会福祉の専門技術について：社会福祉士などソーシャルワーカーが行う相談援助について、特徴と概要を理解する—グループワーク—	事前学習	教科書で指定した「知りたい！ソーシャルワーカーの仕事」以外で、社会福祉士、ソーシャルワーカーに関連する書籍を読んでおくこと。
		事後学習	誰かから相談された時を想定し、自分なりに福祉専門性を持って対処できるようにすること。
第15回	講義総評とまとめ	事前学習	期末レポートに向けた準備と授業の振り返りをする。
		事後学習	社会福祉とはどのような特性を有するものなのか、言語化して説明できるようにする。
期末試験			